科目名: 老年看護学実習Ⅱ	必修	1単位(45時間)
(Gerontological Nursing Practice Ⅱ)		

履修年次/時期: 3年次 前期　　授業形態: 実習

主担当教員: 棚橋 泰之

主担当教員詳細:

担当教員名: 石川 智子

学修目的	介護老人保健施設及び老人福祉施設の利用者との関わりを通して、老年期の特徴を知り、コミュニケーションの方法、看護の役割・援助方法および多職種との連携・協働について学ぶ。 関連するCP: CP1,CP2,CP3,CP5,CP6　　科目No. KNp-305		
この科目が目的としているDP	1. 医療専門職としての倫理観を有する。	(1)生命の尊厳を基盤とし、医療における倫理観を有する。	◎
		(2)医療専門職として礼節を重んじ品格を備える。	○
	2. 医療専門職として健康問題の発見と課題に取り組む能力を有する。	(1)教養と考える力を身につけ、主体的に課題解決に取り組む能力を有する。	○
		(2)専門的知識や技術を修得し、人びとの健康に寄与できる能力を有する。	○
		(3)社会の動向に関心をもち、学び続ける力を有する。	○
	3. 健康支援を通し、全身の健康を守る看護実践能力を有する。	(1)多様な価値観を持った人びとを理解し、人間関係を築く能力を有する。	○
		(2)優しさに溢れる看護専門職として地域社会に貢献する能力を有する。	○
		(3)看護専門職としての役割と責任を自覚し、多職種と協働できる能力を有する。	○
	◎: この講義・演習・実習と最も関連があるDP ○: この講義・演習・実習と関連があるDP		
到達目標	① 介護老人保健施設及び老人福祉施設について理解できる。 ② 加齢に伴う身体的・精神的・社会的側面の変化について理解できる。 ③ 認知機能が低下している高齢者の特徴を理解でき、高齢者とのコミュニケーションのとり方がわかる。 ④ 看護の役割および多職種との連携・協働の意義について理解することができる。 ⑤ 看護を学ぶ者として、相応しい態度をとることができる。		
授業概要	認知機能に障害をもつ対象者との関わりを通して、その特徴を知り、コミュニケーションの特徴、看護方法、看護の役割および多職種との連携・協働の実際について理解する。		
授業計画	(実習施設) 社会医療法人ジャパンメディカルアライアンス 介護老人保健施設コスモス 社会福祉法人聖隷福祉事業団 油壷エデンの園 株式会社ツクイ ツクイ・サンシャイン三浦 株式会社小俣組 介護付き有料老人ホーム サニーステージ野比弐番館 (実習期間) 3年次 4月下旬～7月上旬		
評価方法	老年看護学実習Ⅱの実習評価表の項目を、評価基準に基づいて点数化し、その合計点を最終評価とする。 評価に対するフィードバックは必要時、面接にて行う。		
教科書	授業で使用した教科書と授業資料		
参考書	必要時、紹介する。		
オフィスアワー 連絡先	特定の日時を設定したオフィスアワーは設けません。 実習で不在のことも多いので、必ずアポイントメントをとってください。 直接研究室に来訪するかメールで連絡をお願いします。 棚橋 泰之　tanahashi@kdu.ac.jp 石川 智子　実習終了後～18:00　第3号館3階共同研究　t.ishikawa@kdu.ac.jp		